

紡 ぐ 輪 冊 舞 舞

SATO NORIKATSU

佐藤典克 作陶展

2026.7.5 sun - 9.6 sun

開館日 | 水・木・土・日曜日 11:00～16:00 (入館は15:30まで)

休館日 | 月・火・金曜日 ●入場無料

会 場 | 緑ヶ丘美術館・本館

→ 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10

U R L | <http://mam-museum.com>

<お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7880>



MAM Collection

MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

幼き日の記憶と手に染み込んだ技が土の上で出会う。
過去と今が響きあう、継がれてゆく輪舞。^{ろんど}

土を練り、轆轤を回すその手のひらには、
幼き日の記憶と、積み重ねてきた技が宿っている。

岐阜県羽島市で育ち、
土まみれになりながら野を駆け、繊維業を営む父の背中を見て育った少年時代。
いつの間にか土の匂いは日常となり、その感覚が作陶の原点となった。
やがて東京藝術大学で陶芸を学び、理論や技術を磨く中で、
「自然と人が響き合う感覚」を自身の表現の核として見いだしていった。

学生時代は土物や色化粧を通じて、
素材の手ざわりや焼き上がりの変化に心を惹かれ、
やがて自然の営みと呼応する“土の表現”へと向かっていった。
見て、触れて、感じてきたことのすべてが、
心の奥で静かに積み重なり、やがてかたちとなって現れてくる。

佐藤典克は語る。
「変化しているように見えるかもしれない。でも、すべて私なのです。」
白磁の静寂、金彩の煌めき、鉄釉の重厚 ——
異なる表情をもつ作品たちは、一本の糸で結ばれている。
それは、作家自身の記憶という名の糸。

自然と対話し、素材と呼吸を合わせるように形を探るその姿勢は、
これからも続いていく、終わりなき舞曲・輪舞（ろんど）のように。

今回の撮影の舞台は、作家が育った羽島市。
原風景の地で捉えられた写真は、作品の背景にある
『暮らしと自然』の息づかいを伝えてくれる。

本展では、時を重ねながら変化してきた作品群が並びます。
それらすべては、作家の深い精神性と創造の軌跡から生まれた、ひとつの連なりです。

どうぞご覧ください。
記憶と技が織りなす、陶の輪舞（ろんど）を。



縹金プラチナ箔巧彩 盛



縹器



縹赤磁プラチナ箔巧彩合子



縹舟 青磁金プラチナ箔巧彩花入／縹磁金プラチナ箔巧彩花入



青磁金プラチナ箔巧彩飾壺／赤磁金プラチナ箔巧彩飾壺



縹器 灯

佐藤 典克 SATO NORIKATSU

1974 岐阜県羽島市に生まれる
2001 東京藝術大学大学院
美術研究科修士課程陶芸専攻 修了
2003 神奈川県相模原市に築窯
2006 東京藝術大学陶芸研究室助手 就任(～2008年3月)
2019 多摩美術大学工芸学科 非常勤講師

主な受賞・入選歴

2000 東日本伝統工芸展 入選(以後20回)
2011 現代茶陶展 入選(以後4回)
2012 日本伝統工芸展 入選(以後11回)
美濃陶芸展 審査員特別賞
2013 世界工芸コンペティション・
金沢2013～茶の時空間～ 審査員特別賞
陶美展 奨励賞
美濃陶芸展 中日陶芸賞
2014 現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ 萩大賞
美濃陶芸庄六賞茶器展 第20回記念賞
国際陶磁器展美濃 国際陶磁器
コンペティション 入選(以後2回)
2015 ファエンツァ国際陶芸展 入選
日本陶芸展(伝統部門) 入選

2017 日本陶芸展(伝統部門/自由造形部門/
和・洋の食器部門)三部門同時入選
2018 陶美展 奨励賞
美濃茶器展 銀賞
2019 金沢・世界工芸トリエンナーレ「超越する工芸」
2019金沢・世界工芸コンペティション 入選
2020 東日本伝統工芸展 奨励賞
2021 笠間陶芸大賞展 審査員特別賞
2022 伝統文化ポーラ賞 奨励賞
2024 備前・現代陶芸ビエンナーレ2024 入選
2025 陶美展 十四代柿右衛門記念賞

現在 日本工芸会 正会員
日本陶芸美術協会 正会員
多摩美術大学工芸学科 非常勤講師
岐阜県羽島市アンバサダー

パブリックコレクション

山口県立萩美術館・浦上記念館
茨城県陶芸美術館
ファエンツァ国際陶磁器博物館
MOA美術館
緑ヶ丘美術館



縹青磁金プラチナ箔巧彩壺



縹器



彩泥風漂草紋大鉢 2025



縹縹磁金プラチナ箔巧彩壺

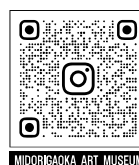
交通アクセス

◎ 公共交通機関：〈地下鉄中央線・近鉄けいはんな線〉または〈近鉄生駒線〉
〈近鉄奈良線〉で『生駒駅』下車。生駒駅「南口1番のりば」より奈良交通バス
『中菜畑二丁目行き』乗車→『新旭ヶ丘バス停』下車、徒歩すぐ。

【会場住所】〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10



HP



MIDORIGAOKA_ART_MUSEUM



緑ヶ丘美術館



MAM Collection

紡ぐ輪舞

SATO NORIKATSU

佐藤典克 作陶展

2026.7.5 sun - 9.6 sun

開館日 | 水・木・土・日曜日 11:00～16:00 (入館は15:30まで)

休館日 | 月・火・金曜日 ●入場無料

会 場 | 緑ヶ丘美術館・本館

→ 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10

U R L | <http://mam-museum.com>

<お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7880>



MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館